

音楽演奏に関するソーシャルディスタンス指針

2020年10月7日 通知
理事(社会連携・学生担当)

学生の課外活動において、発声・楽器演奏を伴う場合は、プロ演奏団体と専門機関による調査・実験を踏まえた以下のソーシャルディスタンスの確保、留意点について遵守すること。

楽器等の種類	例示	前方の距離	左右の距離	備考
弦楽器	ヴァイオリン、 ヴィオラ、チェロ、 コントラバス	通常配置	通常配置	・マスク着用可能
木管楽器	クラリネット、 オーボエ、ファゴット	1m	通常配置	
木管楽器 (エアリード)	フルート、ピッコロ	2m	通常配置	
金管楽器 (前向き)	トランペット、トロンボーン	2m	通常配置	
金管楽器 (横・上向き)	ホルン、 チューバ、ユーフォニアム	通常配置	通常配置	
打楽器	マリンバ、シロフォン ティンパニ、スネアドラム、 バスターム、シェイカー	通常配置	通常配置	・マスク着用可能 ・ホイッスル等は エアリードに準ずる
鍵盤楽器	ピアノ、エレクトーン等	通常配置	通常配置	・マスク着用可能
撥弦楽器	ギター、エレキベース	通常配置	通常配置	・マスク着用可能
歌唱	ソプラノ、アルト、 テノール、バリトン、バス (合唱含む)	2m	1m	・バンド演奏の ボーカルに準用可
指揮者		練習時 2m 公演時 1.5m	—	・マスク着用可能

※ただし、「通常配置」の場合も1m以上の確保が望ましい。

＜その他留意すべき点＞

- ・管楽器・歌唱については、近距離で向き合った形での演奏は避ける。
- ・管楽器類の結露水处理に関しては以下のとおりとする。
木管楽器: 頻繁にクリーニングスワブを通し、結露水が飛ばないように留意する。
金管楽器: つば抜きは低い位置で行い、個別に準備したビニール袋にティッシュ等
を入れ、結露水を吸わせる。ビニール袋は個別に処理する。
演奏後には床面の掃除を行う。ただし、この際の手指衛生に留意。
- ・鍵盤楽器は楽器の共用が想定されるため、演奏前後の手指消毒、鍵盤の清拭等を行う。
- ・打楽器は楽器の共用が想定されるため、演奏前後の手指消毒、スティック類の清拭等を行う。
- ・騒音の問題により窓の開放ができない場合は、30分に1回、5分間の双方向換気を行う。
- ・譜面台等の共用器材は使用前後の手指消毒、器材の清拭を行う。